

同一産業労働者諸君に訴ふ

吾々浦製作所に於て、今回、吾々同志十八名が餓首された。吾々従業員二千餘名は、此の餓首が一紙資金の引下げ、組合撲滅の豫備行動たることを共感し、會社の此の無法横暴なる意を痛恨せしむることなくんば、吾々の前途は奴隷階級の一言を以て盡くる生活に墜落するの止むなきに至ることを意識し、合理的方法を以て、復讐の要求を提示したのである。然るに、吾々の此の生活擁護上の當然の要求たる復讐要求は、追加餓首者二百餘名を出すの冷然な威嚇の一言を以て一蹴されて仕舞つた。

突當なる手段に訴へ、平和の内に事を處せんとする適當なる吾々の行動は無視され、官報を布告すべく強制された。

諸君、諸君は吾々労働者が最後の武器たるストライキを以て立つに至る場合は、實に、吾々が餓と死との十字路に立たされる時のみに限ることを知つて居る筈だ。

亦、諸君は、吾々労働者の要求が一度力なくして墜した場合は、資本家が、常に、如何に、吾々を従前以上に無視し、奴隷視し、吾々の低劣な生活状態を猶も低落せしめるの暴虐を恣にするのを知つてゐる筈だ。

此の資本家心理を悉知せる吾々二千餘名は一糸亂すことなく、必勝の意志を以て、三井王國下の芝浦製作所と、對峙しつゝあるのだ。

黒煙はヒタと止んだ。ホイラの騒音は鳴を沈めた。一齊の機軸は休止した。芝浦工場は吾々の足下に横死しつゝある。

然し、諸君、資本家の共同戦線は網の如くに張られてゐる。芝浦工場一個の休止は、資本家に何等の痛痒でもないのだ。

工場製品は、諸君の工場へと移入されつゝあるのだ。諸君の勤務時間は延長しつゝある。諸君の残業夜度数は従前を尊しつゝある。

實に諸君、吾々の勝敗は、かくのごとく、同一産業労働者たる諸君の行動の如何にかゝはつてゐるのだ。

同一産業労働者は共通共同の利害をもつのだ。吾々の勝敗の如何は、また諸君自身の勝敗である。諸君、吾々の戦線を支持せられよ。吾々の戦線を擴大すべく、諸君も戦ひに参加せよ。

諸君、吾々の戦ひを勝利に導く努力を惜まれざることを切望する。

大正十四年七月十四日

芝浦争議團本部

芝區芝浦日米自動車工場跡

芝浦労働組合事務所

芝區金杉濱町三八